

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クリオ辻堂羽鳥新築工事	階数	地上7階
建設地	藤沢市羽鳥3丁目1270番1、44、45	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	126 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2014年9月9日
敷地面積	1,540 m ²	作成者	(株)IAO竹田設計
建築面積	717 m ²	確認日	2014年9月9日
延床面積	3,205 m ²	確認者	(株)IAO竹田設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 30% 60% 80% 100% 100%超:
 □建設 □修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

参照値: 100%
 建築物の取組み: 74%
 上記+ 以外の: 74%
 上記+: 74%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
敷地内の環境は自然豊かな環境になるように緑地等の計画を配慮した。 建物については二酸化炭素の発生を抑えるよう配慮した。	0	
Q1 室内環境 断熱等級4として計画し、温熱環境の寒暖差を緩やかにした。また採光を多く取り入れるよう開口部はなるべく南面に面するよう計画している。	Q2 サービス性能 生活するうえで不便が生じないよう配慮し、特に身障者が可能な限り生活に支障がないよう配慮した。また設備関係の更新が容易に行えるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑地を大きく計画し、道路境界部分になるべく緑地帯を設けることで自然豊かな環境を目指した。
LR1 エネルギー 省エネ等級4として計画し、空調設備の使用を極力抑え、二酸化炭素の発生を抑えた。	LR2 資源・マテリアル 外壁材、内装材は極力汚れにくい材料を選定し建物の維持に配慮した。	LR3 敷地外環境 歩行者と自動車出入口を分け、安全性に配慮した。またなるべく道路境界沿いに緑地帯を設け街並みに圧迫感のない様に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される